

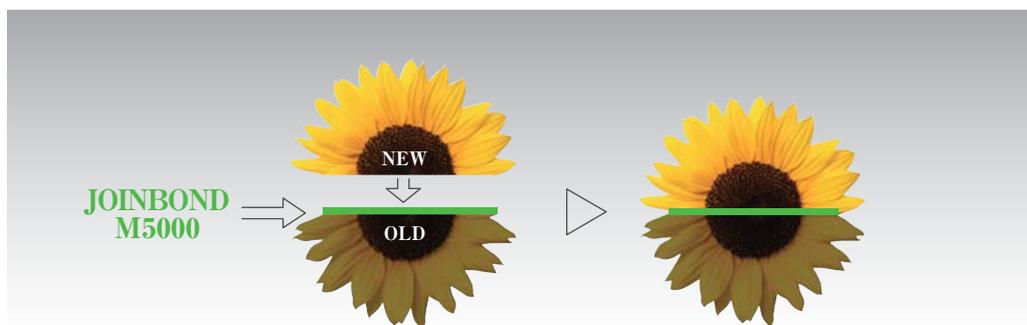
NEW!
JOINBOND
ジョインボンド
M5000



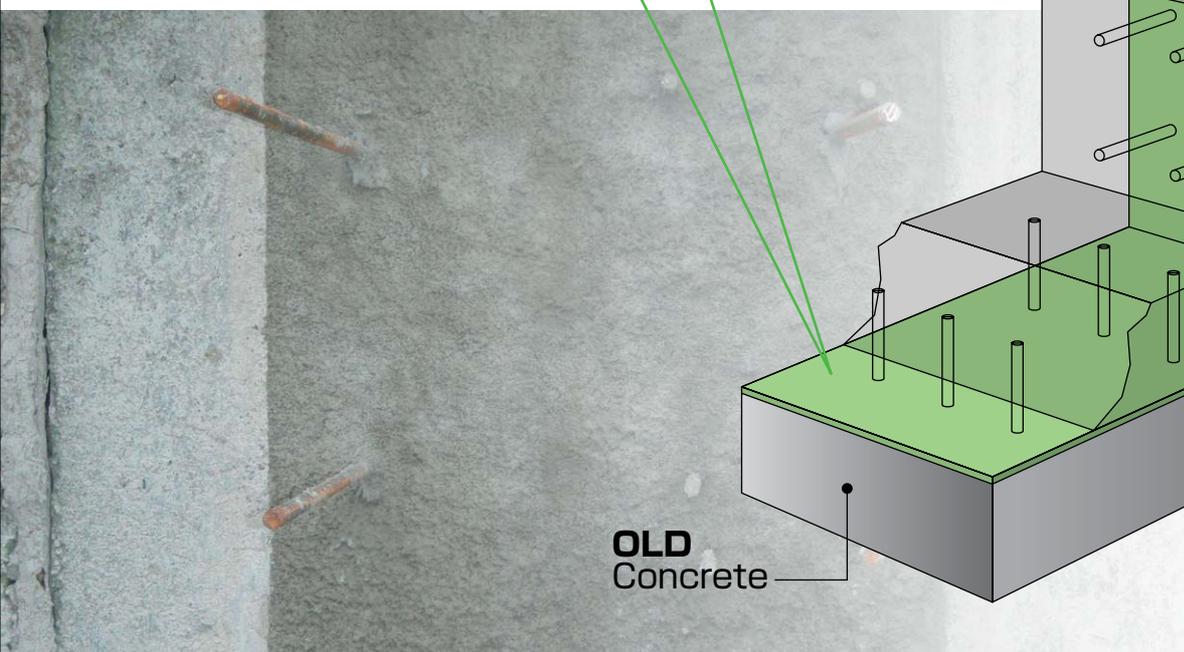
新旧コンクリート打継目接着材

打継コントロール型接着材 打継有効期間 : 14日間 (20℃)

繊維補強で
強力な界面接着力を実現した
環境にやさしいジョインボンド M5000



JOINBOND
ジョインボンド
M5000



ジョインボンドM5000は、
コンクリートの増打ち等で用いることにより打継界面での接着強度を
大幅に強化し、一体化と水密性の向上を図る
繊維補強ポリマーセメント系接着材です。

ジョインボンド工法

特長

- 1 作業性に優れ、従来作業(チッピング)と比べて打継目処理の作業時間を大幅に短縮することができます。
- 2 旧コンクリート表面に吹き付け又はコテ塗りし、新コンクリートを打設することで新旧コンクリート層を一体化し、水密性を向上させます。
- 3 旧コンクリート面に塗付した後、新コンクリート打設までの時間を1日~最大14日間(20℃)確保できます。
- 4 鉄筋との接着性にも優れています。

用途

- ダム・防潮堤・水路等既存構造物への増し打ち・高上げ
- 各種公共施設の耐震補強における増し打ち・高上げ
- その他、コンクリートスラブ・梁・柱等の新旧コンクリートにおける水平及び鉛直打継面



施工手順

○既設コンクリートの打ち増し、高上げコンクリートの打設



施工方法

1 旧コンクリートの表面処理



旧コンクリート下地表面の脆弱層や異物を取り除いてください。

2 散水(湿潤)処理



処理後、表面に散水し、湿潤状態にしてください。
尚、浮き水については残らないよう除去してください。

3 練り混ぜ



先に混和液と水を容器に入れ、徐々に粉体を加えながらハンドミキサ等で、2分以上均一に練り混ぜてください。
※練り混ぜには必ず上水道水をご使用ください。

○各種工法の特性比較

	ジョイントボンド工法	エポキシ樹脂工法	チッピングによる目粗し	ワイヤブラシ処理による目粗し
施工方法	ポリマーセメント材料の塗付	エポキシ樹脂材料の塗付	手はつり、機械はつりなどで粗面処理	ワイヤブラシで目粗し処理
材料の可使時間	40分程度	30分程度	—	—
打継有効期間	塗付後1~14日間以内	短時間内	—	—
せん断強度比※1) (材齢28日)	108	30分後に打設 103	97	95
曲げ接着強度比※2) (材齢28日)	77	70	60	57
鉄との接着性 (材齢28日)	1.5N/mm ² 以上	—	—	—

※1) せん断強度は、45°の斜め打継目を有する供試体で圧縮強度を測定し、その結果から打継目のせん断強度を算出した。

打継目の無い供試体を100とした場合の比率である。

※2) 曲げ接着強度は、打継目の無い供試体を100とした場合の比率である。

せん断強度、曲げ接着強度試験のコンクリート配合：21-8-20BB

○せん断強度試験状況



ジョイントボンド工法

打継目付近の破断面にズレが生じていない。



ワイヤブラシ処理

打継目付近の破断面にズレが生じている。

○性能

試験項目	試験結果		試験方法
曲げ強さ	8.6N/mm ²		JIS A 1171
圧縮強さ	50.1N/mm ²		
コンクリートとの接着性	材齢14日気中養生	1.51N/mm ²	下地：舗装用コンクリート平板 接着力試験：建研式接着力試験器
	14日間気中養生後、14日間水中浸漬	3.54N/mm ²	
鉄との接着性	材齢28日	1.53N/mm ²	下地：鋼板 接着力試験：建研式接着力試験器

4 ジョインボンド吹付け(塗付け)



2~4mm程度の塗り厚で、リシンガン・スタッコガン・モルタル用吹付け機またはコテによる塗付けで旧コンクリート地肌が見えないよう均一に施工してください。
 ※配筋に対する養生は、特に必要ありません。
 ※施工は気温5℃以上35℃以下で行ってください。

5 養生→新コンクリート打設



塗付後直射日光や強風等による急激な乾燥・降雨・凍結に注意し、適切な方法で養生し、硬化確認後14日以内(20℃)に新コンクリートを打設してください。
 尚、養生中に発生した過度の白華・汚れは接着不良の原因となりますので、ワイヤブラシ等で除去してから新コンクリートを打設してください。

○標準仕様

1セット当りの標準配合				塗付厚さ	標準施工面積	可使用時間
粉体(kg)	混和液(kg)	水(kg)	練り上がり量	塗り厚(mm)	1セット(調合物)当りの施工面積	20℃
16.8	1.2	2.5	約10ℓ	2~4	2.5mm厚:約3.9m ²	40分

1m ³ 当りの標準配合		
粉体(kg)	混和液(kg)	水(kg)
1720	123	256

○荷姿



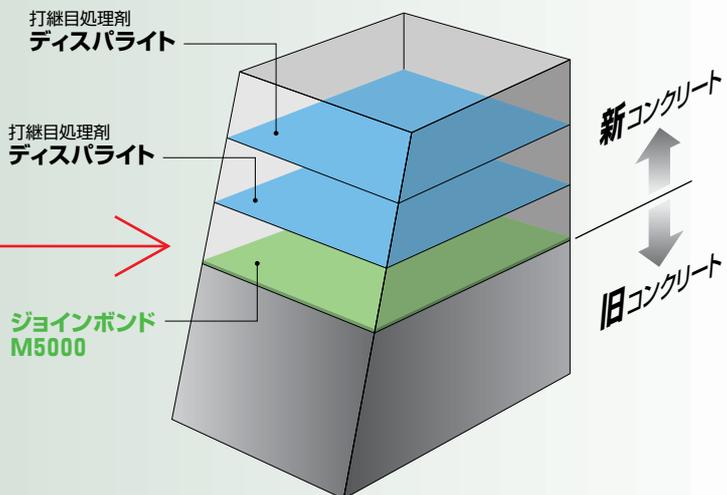
●パール缶タイプ
 18kg/缶
 (缶内に粉体16.8kg、
 混和液1.2kg)



●ダンボール箱タイプ
 18kg/箱
 (箱内に粉体16.8kg、
 混和液1.2kg)

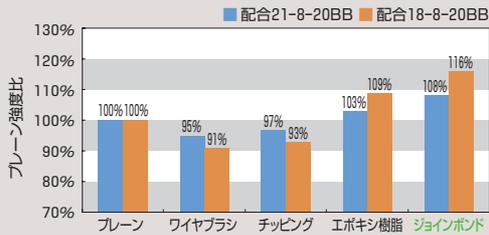
JOINBOND
ジョインボンド
M5000
 &
Disparlight[®]

ジョインボンドM5000と
 ディスパライト(打継目処理剤)
 を併用することにより、
 作業性の向上につながります。



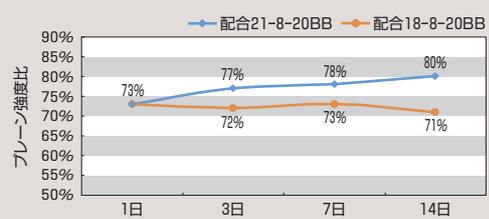
DATA

○各種工法によるせん断強度比 (20℃)



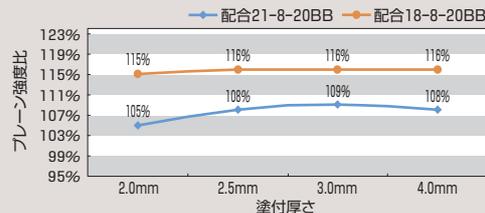
打継目のすれせん断角度を45°に設定した各種工法の供試体と打継目の無いコンクリート(プレーン)の供試体の圧縮試験を行い、せん断破壊時の最大応力の比率を求めた。
旧コンクリートの材齢は60日とした。(ジョインボンド塗付厚さは2.5mm)

○打継コントロール時間別の曲げ接着強度比 (20℃)



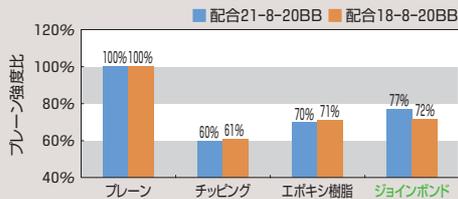
角柱供試体(15cm×15cm×53cm)の中央に仕切板を設置したジョインボンドの打継コントロール時間別の供試体と打継目の無いコンクリート(プレーン)の供試体の曲げ試験を行い、破壊時の最大応力の比率を求めた。
旧コンクリートの材齢は60日とした。(ジョインボンド塗付厚さは2.5mm)

○ジョインボンド塗付厚さによるせん断強度比 (20℃)



打継目のすれせん断角度を45°に設定したジョインボンドの異なる塗付厚さによる供試体と打継目の無いコンクリート(プレーン)の供試体の圧縮試験を行い、せん断破壊時の最大応力の比率を求めた。
旧コンクリートの材齢は60日とした。

○各種工法による曲げ接着強度比 (20℃)



角柱供試体(15cm×15cm×53cm)の中央に仕切板を設置し鉛直打継目を各種工法で処理した供試体と打継目の無いコンクリート(プレーン)の供試体の曲げ試験を行い、破壊時の最大応力の比率を求めた。
旧コンクリートの材齢は60日とした。(ジョインボンド塗付厚さは2.5mm)

○鉄部との接着性試験

試験内容	ジョインボンドの塗付面	ジョインボンドの未塗付面	
接着強度 (N/mm ²)	材齢 7日	1.33	0
	材齢 28日	1.53	0
試験後の破断位置	鋼板とジョインボンド界面	鋼板とモルタル界面	

厚さ7mmの鋼板をサンディングした後、ジョインボンドを2.5mmの厚さで塗付、3日経過後にモルタル(10mm)を塗付し建研式接着力試験器を使用し接着強度を求めた。



- ここに記載された事項は、弊社の実験データにもとづくものでありますが、多岐にわたる条件下での実際の現場結果を確実に保証するものではありません。
- 本カタログの内容は、断りなく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱いに関する詳細な注意事項はMSDSをご参照ください。
- 粉体の取扱いはセメントに準じて行ってください。
- 内容及び容器は国/都道府県/市町村の規則に従って廃棄してください。



特販事業部

■本 社 / 〒651-2116 神戸市西区南別府1丁目14番6号
TEL (078) 974-1141 (代) FAX (078) 974-7786
URL: <http://www.jikkou.co.jp>

- 東京支店 / TEL (03) 3623-4433 (代) FAX (03) 5608-3812
- 東北営業所 / TEL (022) 248-2611 (代) FAX (022) 304-2761
- 中部営業所 / TEL (052) 231-6864 (代) FAX (052) 231-6936
- 中国営業所 / TEL (082) 850-3131 (代) FAX (082) 850-3132
- 四国営業所 / TEL (089) 941-3699 (代) FAX (089) 941-3928
- 九州営業所 / TEL (092) 512-2248 (代) FAX (092) 541-6331
- 技術研究所 / TEL (078) 920-1115 (代) FAX (078) 920-1116

代理店

株式会社サンヒット商会

東京都豊島区西巣鴨 1 - 15 - 1
TEL 03-3915-0706 FAX 03-3915-0728
商品ページは [こちら](#) 当社 HP は [こちら](#)